

自動車向け樹脂成形事業

森六、買収機に拡大加速

森六は、今年9月に基
本契約を締結した買収を
契機に自動車向け樹脂成
形事業の拡大を加速す
る。178億円を投じて、
レゾナックの自動車成形
部材事業の一部を202
6年4月1日付で譲り受
ける。森六は2035年
長期ビジョン公表時に、
実現に向けたキーボイン
ト4つを挙げた。今回の
事業買収はこのうち「顧
客ポートフォリオの拡
充」と「外装樹脂部品の
拡大」に直結する。外装

発泡成形技術をはじめ
「自社では量産実績のな
い技術や製法を持つこと
ができる」(森六)ことが
、技術力向上やさらな
る外装樹脂部品の拡大に
つなげる考えだ。
今回譲り受けるのは、

日本では企画開発部門と
工場2拠点、タイでは工
場1拠点とデザインセン
ターとなる。レゾナック
の外装発泡成形技術は、
樹脂の内部を発泡させな
がら表面は平滑性を確保
する独自技術で、部品の
軽量化に大きく貢献す
る。樹脂バックドアでも
豊富な量産実績があり、
軽量化、モジュール化の
分野で高い競争力を持
つ。

森六の樹脂加工製事
業は乗用車のみで、売上
高の大部分を主要顧客が
占める。一方、譲受事業
は商用車の内外装部品も
手がけており、森六の樹
脂加工製事業と重なら
ない競合意識を有する。
今回の事業統合で、売上
高2000億円も視野に
入れた国内有数の自動車
部品サプライヤーに成長
する見込み(同)だ。
さまざまな面でシナジ
ーも見込める。営業面
では、譲受事業の軽量化技

術と森六の加飾・電装技
術を組み合わせて提案力
を強化。両社の知見や技
術基盤を融合し次世代モ
ビリティや環境配慮型製
品などの成長分野で開発
スピードを加速する。国

内では生産変動に対して
複数拠点で柔軟に対応可
能になり、コスト削減効
果も期待できる。
将来的にはケミカル事
業とのシナジー創出も見
込んでいる。ケミカル事

業のグローバルネットワ
ークを活用。品質向上に
貢献する材料の提案や、
価格競争力を高める原材
料、副資材の調達、物流
の効率化などを想定す
る。